

## 抗体を用いたトマト黄化葉巻ウイルスの簡易検出法

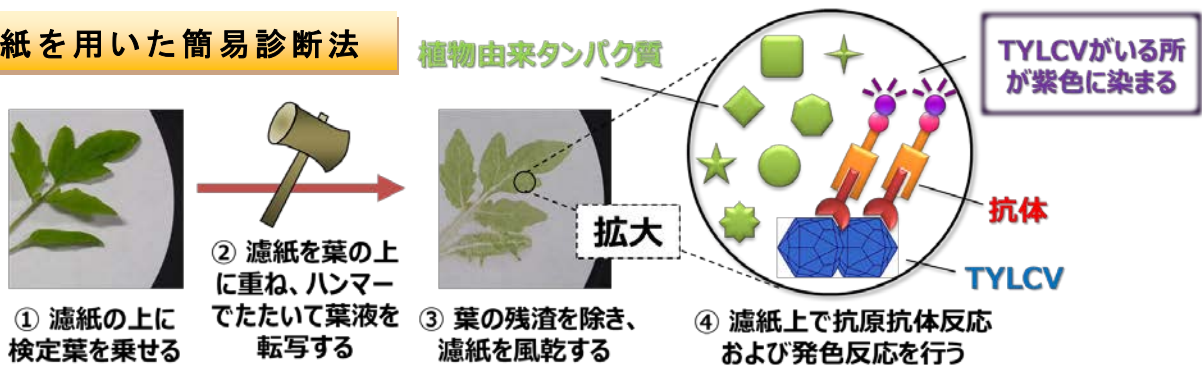
農業総合センター園芸研究所

近年、黄化葉巻病耐病性品種の発病や他のウイルス病等の発生が増加する傾向にあり、的確な防除対策を講じるためには迅速で正確な診断を行う必要があります。そこで、難診断であるトマト黄化葉巻ウイルス（TYLCV）の簡易検出法を開発し、的確な防除対策の実施に活用できるようになりました。

### TYLCV が簡易診断できるように

TYLCVによる病害の防除には迅速な診断が不可欠です。目視による診断が困難な場合は、遺伝子診断法により検定を行っていましたが、専用の機器・試薬と技術が必要なため、研究所などでしか実施できませんでした。そこで、農業改良普及センターなどで簡易に4時間程度で診断できる技術を開発しました。

### 濾紙を用いた簡易診断法



### 実際の診断例

黄化葉巻症状：	なし	あり	なし
遺伝子診断結果：	陰性	陽性	陽性
品種：	耐病性品種	感受性品種	耐病性品種

濾紙への転写後



ハンマーで綺麗に転写できます

抗原抗体反応  
および  
発色反応後

・TYLCVが感染していれば、その場所が紫色に発色します  
・病徴が出ていない葉でもTYLCVを検出できました

### 活用上の留意点

- 1) 本検定は、農業改良普及センターや病害虫防除所等で実施可能ですが、使用する試薬等は園芸研究所で調整したものを使用して下さい。
- 2) 植物試料は生長点付近の新鮮な葉を用いて下さい。特に耐病性品種ではTYLCVの蓄積量が少ないため、古い葉を用いると検出できない場合があります。